

「光輝（かがやき）」の学習を通して、様々な人々とともに、積極的に知識を幅広く活用し、粘り強く課題解決に取り組む中で、社会の発展に貢献する子どもの育成を目指します！

「光輝（かがやき）」の授業・保育

今回は、転換期（3・4年生）と幼小接続期（幼稚園，1・2年生）の授業・保育を紹介します。

「光輝（かがやき）」**（3年生）「大きくなあれ！～感謝の会～」**

転換期部会

（4年生）「自分で自分を育てよう～ワクワク交流～」



感謝の会を開こう（3年生）

お世話になった教育実習の先生たちに、感謝の気持ちを伝えよう。

園児さんが話しやすいように、支えてあげるよ。



ワクワク交流（4年生）

楽しく踊れるように、園児さんにわかりやすく伝えよう。

転換期では、お世話をしてもらう側から、お世話をする側へと立場が変わっていきます。そのため、周りを見て気付いたり、自分なりに考えたりして、互いの考えに折り合いをつけていくことが求められます。

3年生では、「気付くこと」を大切にしています。物事を多面的に見ることで、今まで気付かなかったことに気付くことができます。そうした新たな気付きを取り入れることで、周囲に目を開いた豊かな発想につながると考えています。

4年生では、ペア交流を通して、相手の気持ちを考えることを大切にしています。活動に粘り強く取り組む中で、交流上学年としてのあり方を見つめ直し、自らの成長を感じ、次への課題を見いだすことができると考えています。

「光輝（かがやき）」幼小期接続期部会

（ももぐみ）「演奏会ごっこをしよう！」

（きくぐみ・1年生）「なかよし大作戦」

（2年生）「2・6交流～6年生さんいってらっしゃい～」

演奏会ごっこをしよう！（年少児）



こんな楽器ができたよ！
ぼくたちの音、すてきでしょ！

6年生さんいってらっしゃい（2年生）



なかよし大作戦（年長児・1年生）

いつもありがとう。元気で行ってきてね。帰ってきたらお話聞かせてね。



一緒に楽しい時間を過ごして、仲良しになれたらいいな。こうやったらみんなの声が聞こえるかも…。

幼小接続期部会では、体験を通して感じたこと、考えたことが豊かな学びにつながっていくように活動を仕組んでいます。

幼稚園では、年少児が年長組の演奏会に憧れの気持ちを持ち、真似をして楽器を作ったり、年中児を招待して演奏会を開いたりして、演奏会ごっこを楽しみました。

1年生では、きく組さんと仲良しになることを目的に自分たちなりに様々な作戦を考え、チャレンジしています。みんなで話し合いながら課題を解決しています。

2年生では、2・6交流の一環で、修学旅行へ行く6年生さんへ自分ができることを考え、話し合いの結果、無事に行って帰れるように手紙やお守りを作って手渡しました。

「研究開発だより」（カラー版）をHPに掲載していますので、併せてご覧ください。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/fmihara/kenkyu/>